



中学部教科担任制へ

現在、文部科学省は新学習指導要領に則り、近い将来を見据え、小学校高学年の教科担任制を検討しています。その論点の中で『教科担任制の導入によって、「複数教師による多面的な児童理解による児童の心の安定が図られる。」とされています。学級担任制は、一人ひとりの児童と接する時間が長く、しっかり見とれるという良い面があります。ただ、学級内での問題が起きた場合などは、保護者や児童は担任のせいにして、それらの問題を担任が抱え込んでしまったりする傾向もあり、複数教師による多面的な見方は、そういった面からも有効と考えられています。』と記されています。

本校の中学部では本年度当初より、「中学部指導教員3人による中学部3学年全生徒に教育を施すこと」を目標に掲げてきました。そこで後期より下記のように「教科担任制」を実施することと致しました。ご理解・ご協力のほどよろしくお願い致します。

1. 期待される教育的効果

- ・各教科、学年ごとの成長段階に沿った指導ができる。
- ・中学部全体を一つの集団として生徒指導できる。
- ・教員の専門性を生かした授業が期待できる。
- ・本校独自の中学部社会科「新しい学び」（説明済み）に取り組みやすい。

2. 具体的な時間割り（仮定 変更有り）

		中1	中2	中3
13:00~13:15		集会・昼の会		
13:15~14:00	1校時	※国語	※国語	※国語
14:05~14:50	2校時	社会	数学	国語
15:10~15:55	3校時	国語	社会	数学
16:00~16:45	4校時	数学	国語	社会
16:45~17:00		※数学演習	※数学演習	※数学演習
17:00~17:10		帰りの会		

- ・1校時 ※各学年担任による国語
- ・2校時以降 国語：北井 数学：ダンカン 社会：蔵ヶ崎（全45分授業）
- ・16:45から15分間、※各担任による数学演習指導

これは中学部のみの試みであり、小学部は変更ありません。